

燃えにくい発泡スチロール 愛媛の潮冷熱、天井材など

船舶用空調などを生産する潮冷熱（愛媛県今治市）は燃えにくい発泡スチロールの製造・販売事業を本格化する。材料の粒を特殊な樹脂でコーティングし難燃性を高め、軽くて加工しやすい素材として、天井の建築部材などの需要を見込む。将来は船舶や自動車など幅広い分野で活用できることを売り込み、2023年3月期に同事業の売上高20億円を目指す。

出典：日経新聞 2019/11/1

潮冷熱/耐火性発泡スチロール発売。東京パラ、練習プールに採用

船舶用空調システムなどを手掛ける潮冷熱（本社・愛媛県今治市）が、建築部材などで活用できる燃えない発泡スチロール（超難燃性軽量発泡新素材）「カルック」の販売に乗り出した。7月に研究開発や製造販売を担う新会社「ウシオマテックス」を設立。既に2020年東京パラリンピックの練習用プールに指定されている東京都障害者総合スポーツセンター（北区）の天井材に採用されており、将来的には船舶の内装への応用も視野に

出典：日本海事新聞 2019/8/13



写真：愛媛新聞 2019/8/13